

IS-UNITY-SNMP 初期設定手順書

本手順書は、GXT3-J UPS のオプションである、IS-UNITY-SNMP/ IS-UNITY-SNMP-DP カードの初期設定と、コンピュータとのSNMP通信設定の手順書です。

内容

1. IS-UNITY-SNMP の固定 IP アドレス設定.....2
2. IS-UNITY-SNMP へ通信するコンピュータの情報登録(SNMP 設定)9

1. IS-UNITY-SNMP の固定 IP アドレス設定

1-1. ケーブル接続

IS-UNITY-SNMP を GXT3-J UPS に装着し、ストレートケーブルにより、1対1で接続します。
スイッチ等を経由しますと、通信確立に時間がかかる場合があります。

1-2. 設定用コンピュータ (Microsoft Windows) のネットワーク設定

インターネット プロトコル バージョン 4 のプロパティを、[IP アドレスを自動的に取得する]に変更してください。

(コントロールパネル → ネットワークとインターネット → ネットワークと共有センター → アダプターの設定の変更 → ローカル エリア接続 ⇒ プロパティ)

※1. 本資料では、設定用端末に OS:Windows Server 2012 R2 を使用しております。

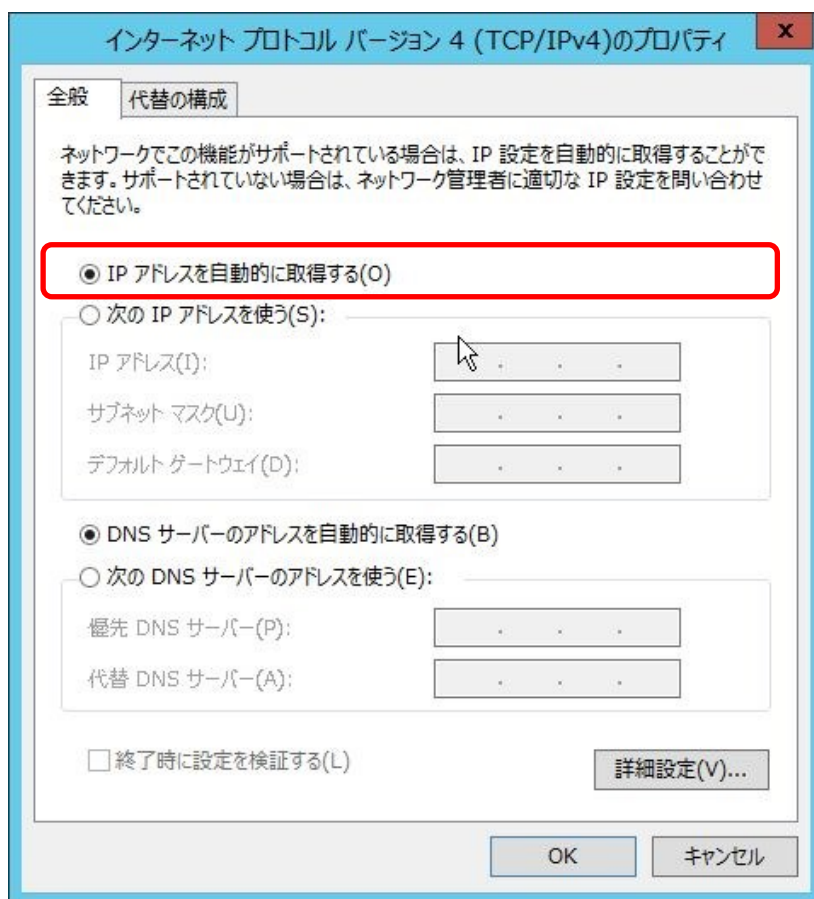


図 1 設定用コンピュータ TCP/IP v4 設定

- 1-3. IPv4 アドレスの自動構成機能 (APIPA) により、コンピュータは通信設定を自動的にネゴシエートします
自動構成 IPv4 アドレスは、[169.254.x.x] となります。
コマンドプロンプトを開き、[ipconfig] と入力し、[Enter] を押します。
これには約 1 分かかる場合があります。

```
管理者: C:\Windows\system32\cmd.exe

イーサネット アダプター イーサネット 2:

メディアの状態 . . . . . : メディアは接続されていません
接続固有の DNS サフィックス . . . . . :

イーサネット アダプター イーサネット:

接続固有の DNS サフィックス . . . . . :
リンクローカル IPv6 アドレス . . . . . : fe80::3c15:f565:2e1b:43ff%12
自動構成 IPv4 アドレス . . . . . : 169.254.67.255
サブネット マスク . . . . . : 255.255.0.0
デフォルト ゲートウェイ . . . . . :

Tunnel adapter isatap.{122516B7-5D51-4C1E-A8AC-748877043681}:

メディアの状態 . . . . . : メディアは接続されていません
接続固有の DNS サフィックス . . . . . :

C:\Users\Administrator>
```

図 2 コマンドプロンプト ipconfig 実行結果画面

1-4. IS-UNITY-SNMP にアクセス

Web ブラウザを開き、URL 入力欄に[169.254.24.7] (IS-UNITY-SNMP の自動構成 IP アドレス)を入力します。
IS-UNITY-SNMP の TOP 画面が表示されます。[Communications]タブをクリックします。
数分かかる場合があります。

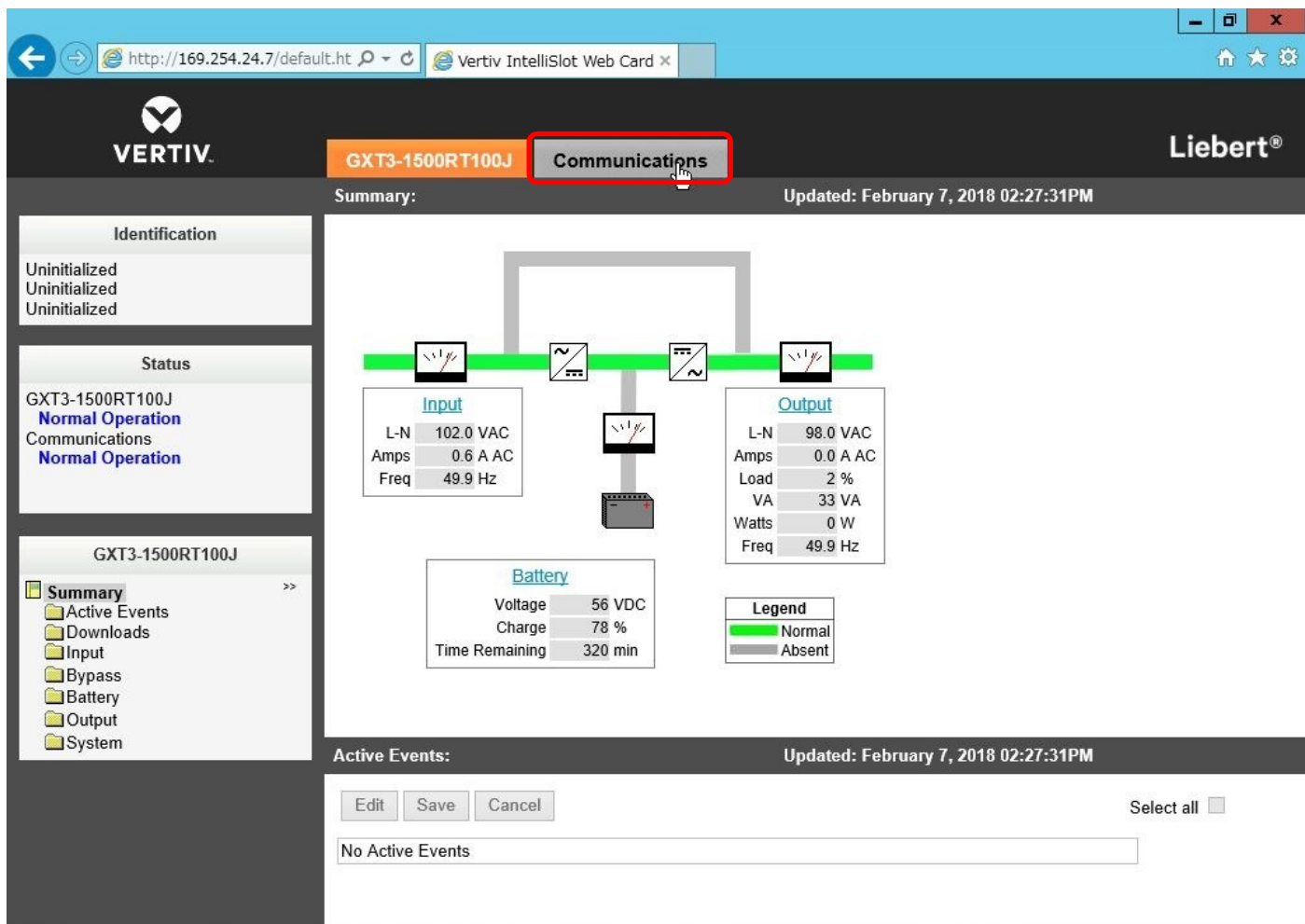


図 3 IS-UNITY-SNMP TOP 画面

1-5. IP アドレスの割り当て設定メニュー

画面左下の[Communications] の[Summary]より、[Configuration]->[Network]->[IPv4]と進み、IPv4 Settings の画面より、[Edit]ボタンをクリックします。

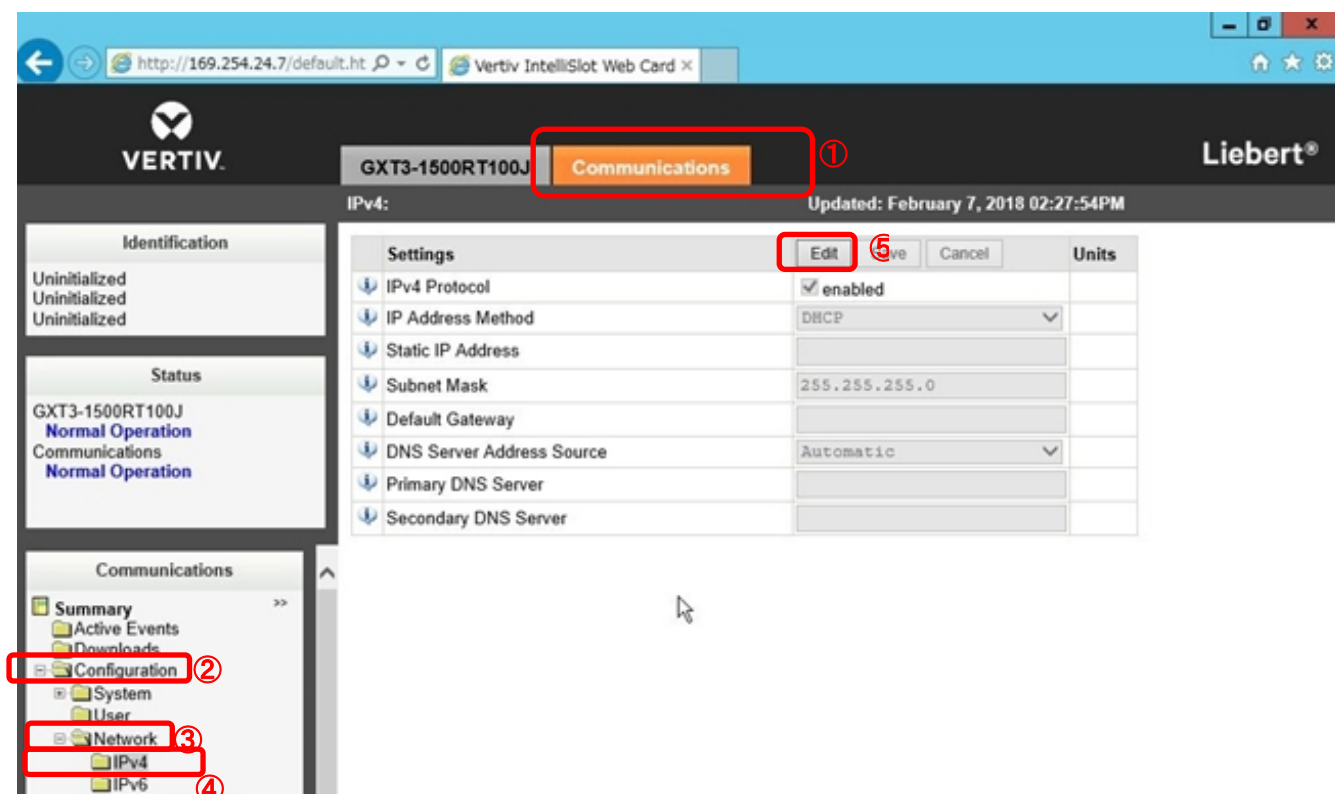


図 4 IS-UNITY-SNMP Communications タブ画面

1-6. 管理者ユーザーでログイン。

Username と Password に[Liebert]と入力し、[Login]ボタンをクリックします。
管理者ユーザーのデフォルトの ID とパスワードは[Liebert]になります。
※グレーアウトされていた項目が設定変更可能になります。

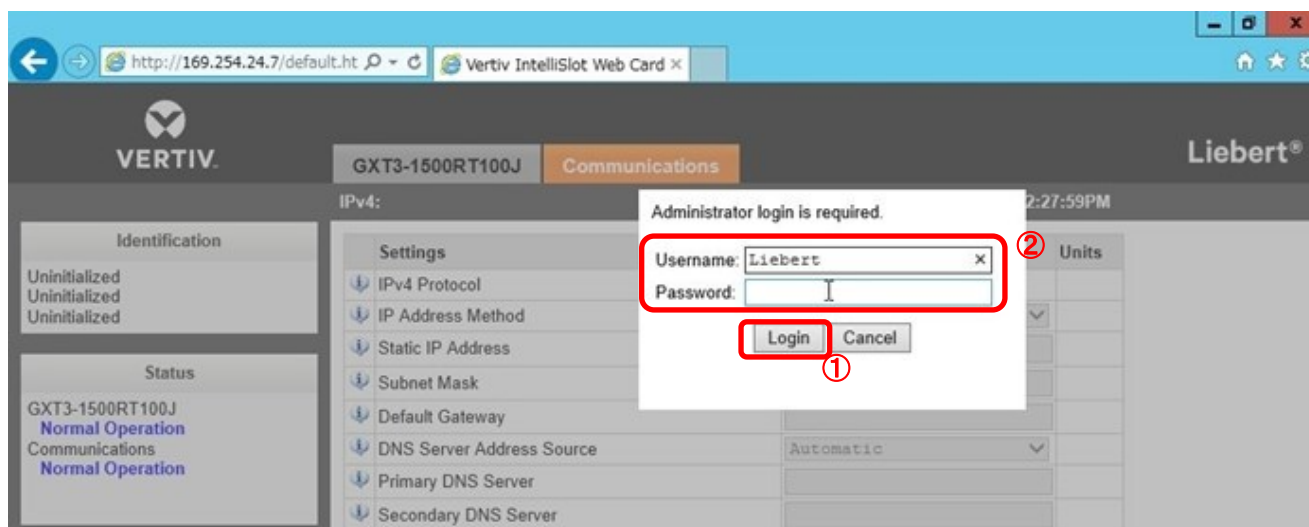


図 5 IS-UNITY-SNMP IPv4 管理者ユーザログイン画面

1-7. IP アドレスの割り当て

下記項目を使用環境に合わせ設定し、[Save]ボタンをクリックします。

IS-UNITY-SNMP の再起動後、設定が反映されますという内容(英語)のポップアップメッセージが表示されます。

※図 7 の IP アドレス設定値は、設定例となります。

- ・ Static IP Address ・ Subnet Mask ・ Default Gateway
- ・ DNS Server Address Source ・ Primary DNS Server ・ Secondary DNS Server

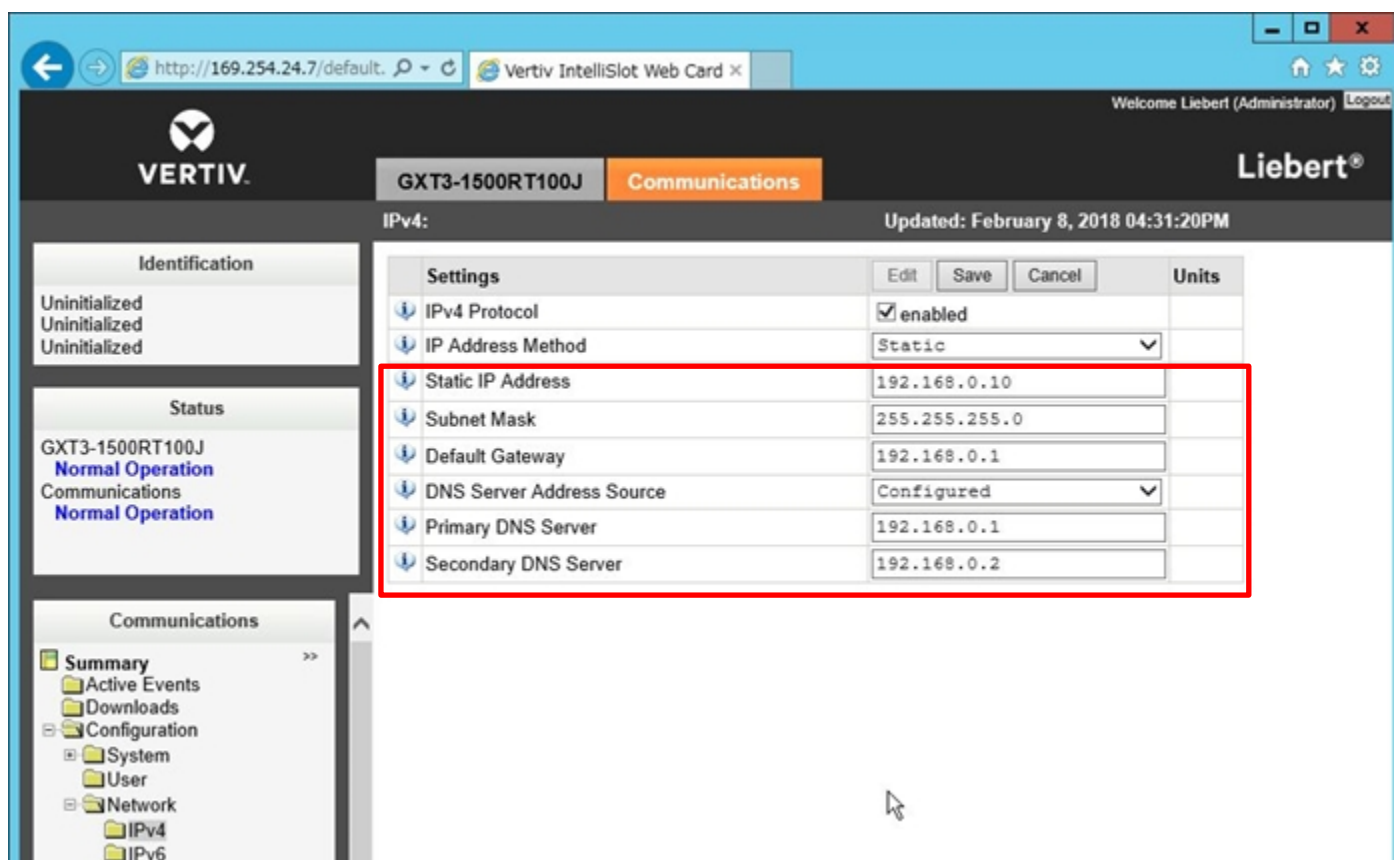


図 6 IS-UNITY-SNMP IPv4 Settings 画面 (固定 IP アドレス設定例)



図 7 ポップアップメッセージ

1-8. 固定 IP アドレス設定後、IS-UNITY-SNMP の再起動

画面左下の[Communications] の[Summary]の[Support]をクリックし、[Support]の画面になりましたら、[Commands]の[Enable]をクリックします。リスタートコマンドが実行可能になります。

[Commands]内、[Restart Card]の[Restart]をクリックします。

再起動確認のポップアップメッセージが表示されます、[OK]ボタンをクリックします。

再起動には、最大約 10 分かかります。

再起動後、IP アドレスの変更内容が反映されます。

Web ブラウザの URL 入力欄に設定した固定 IP アドレスを入力し、IS-UNITY-SNMP へアクセスしてください。

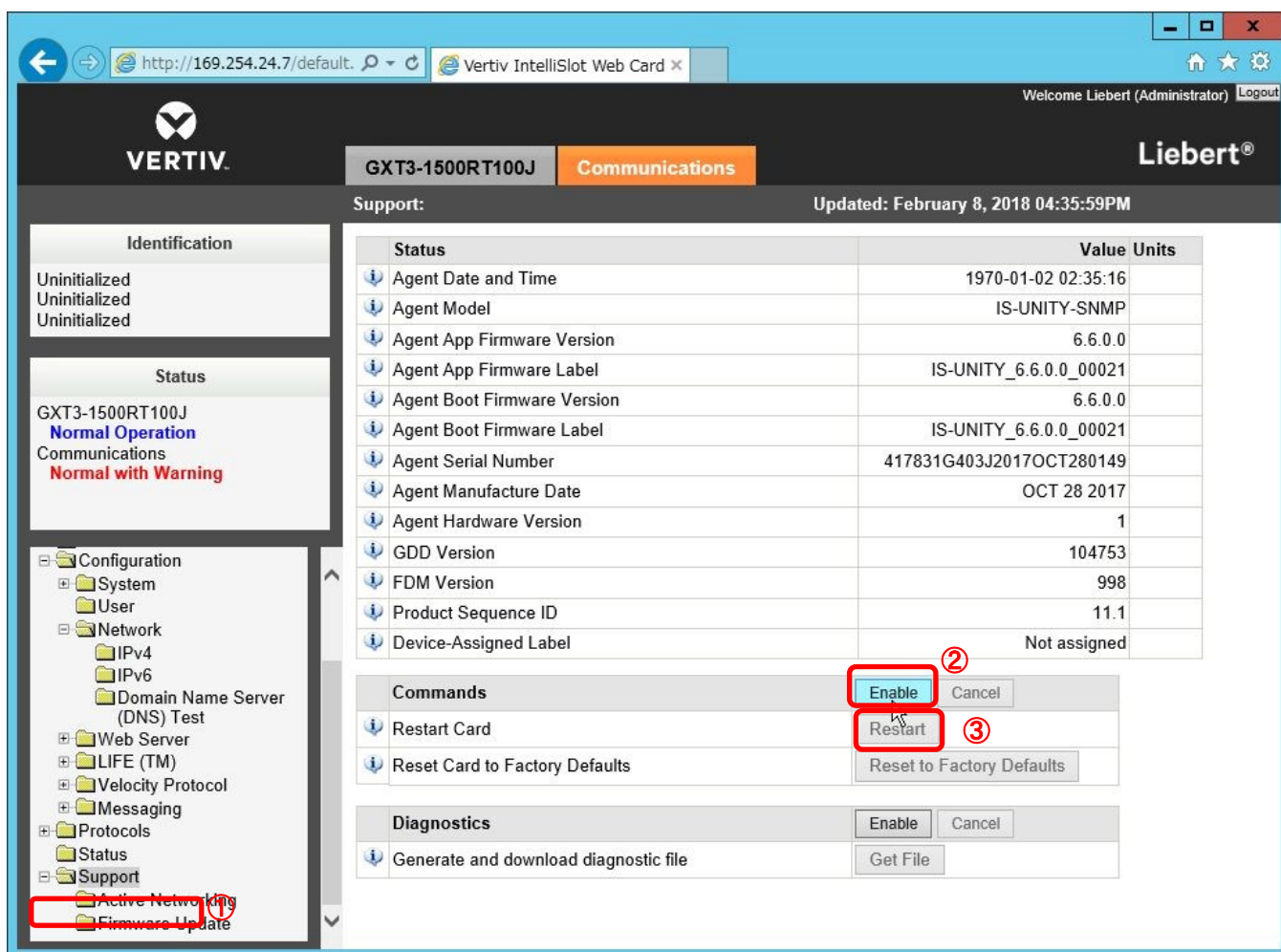


図 8 IS-UNITY-SNMP [Support] タブ画面

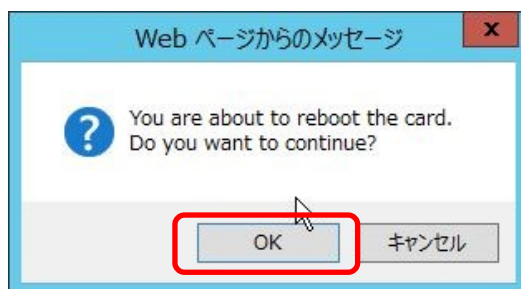


図 9 ポップアップメッセージ 再起動確認

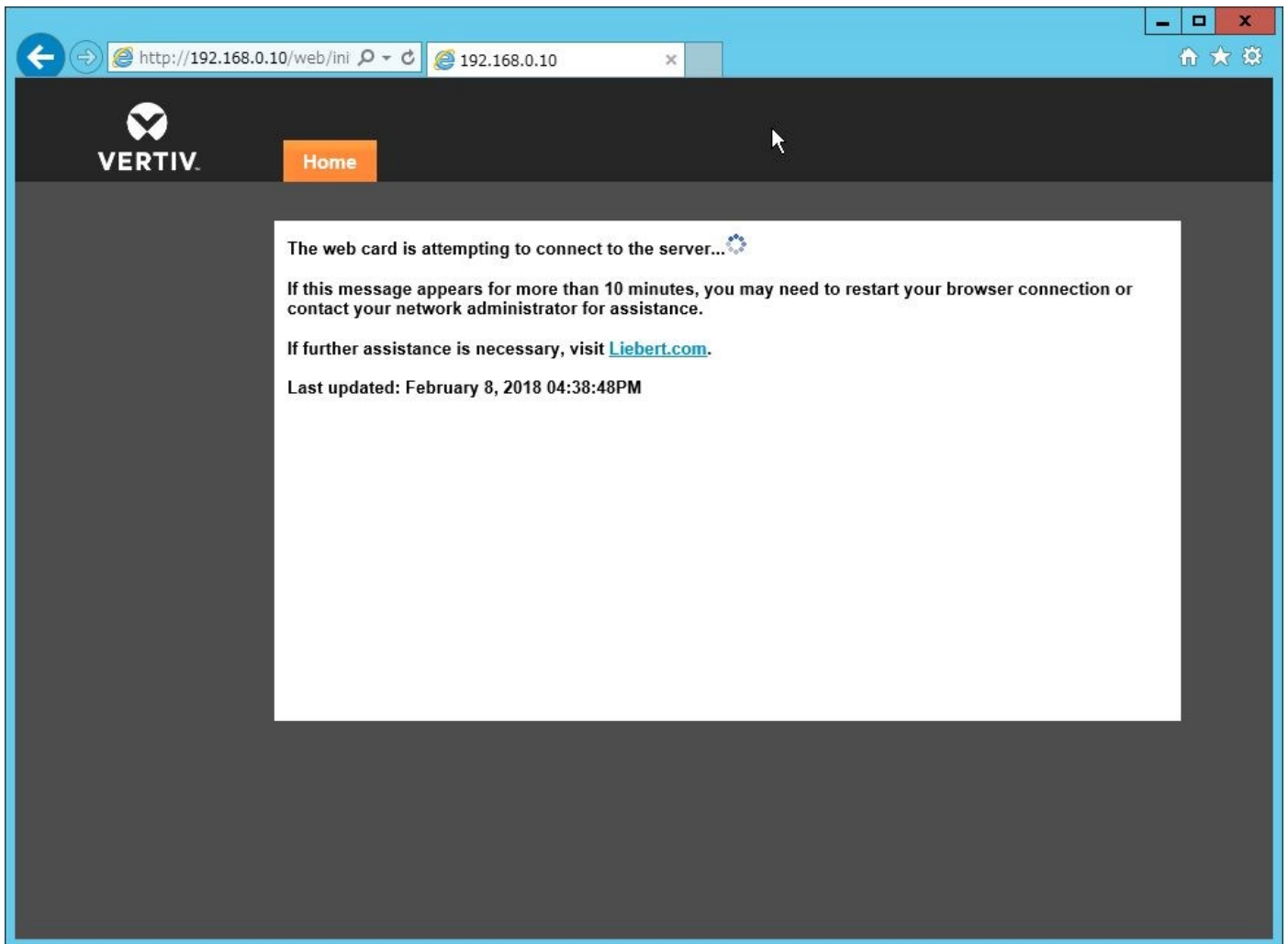


図 10 IS-UNITY-SNMP 再起動中の画面

2. IS-UNITY-SNMP へ通信するコンピュータの情報登録 (SNMP 設定)

2-1. Web ブラウザの URL 入力欄に設定した固定 IP アドレスを入力し、IS-UNITY-SNMP へアクセスし、[Communications] タブをクリックします。

画面左下の [Communications] の [Summary] より、[Protocol] -> [SNMP] -> [SNMPv1/v2c Access (20)] と進み、右側の画面が、[SNMPv1/v2c Access: Table] になりましたら、[SNMPv1/v2c Access [1]] をクリックします。

The screenshot shows the web interface for a Vertiv GXT3-1500RT100J device. The top header displays the device name and the 'Communications' tab is selected. The main content area shows the 'SNMPv1/v2c Access: Table' configuration page, updated on February 8, 2018. The table lists 20 access configurations. The first row, 'SNMPv1/v2c Access [1]', is highlighted with a red box and a circled '4'. The left navigation menu shows the path: Communications > Summary > Protocols > SNMP > SNMPv1/v2c Access (20). The 'Protocols' and 'SNMP' folders are circled with a '2' and '1' respectively, and the 'SNMPv1/v2c Access (20)' folder is circled with a '3'.

| Report | SNMP Access Host |
|------------------------|------------------|
| SNMPv1/v2c Access [1] | ④ |
| SNMPv1/v2c Access [2] | |
| SNMPv1/v2c Access [3] | |
| SNMPv1/v2c Access [4] | |
| SNMPv1/v2c Access [5] | |
| SNMPv1/v2c Access [6] | |
| SNMPv1/v2c Access [7] | |
| SNMPv1/v2c Access [8] | |
| SNMPv1/v2c Access [9] | |
| SNMPv1/v2c Access [10] | |
| SNMPv1/v2c Access [11] | |
| SNMPv1/v2c Access [12] | |
| SNMPv1/v2c Access [13] | |
| SNMPv1/v2c Access [14] | |
| SNMPv1/v2c Access [15] | |
| SNMPv1/v2c Access [16] | |
| SNMPv1/v2c Access [17] | |
| SNMPv1/v2c Access [18] | |
| SNMPv1/v2c Access [19] | |
| SNMPv1/v2c Access [20] | |

図 11 IS-UNITY-SNMP SNMPv1/v2c Access:Table 画面

2-2. [SNMPv1/v2c Access [1]] の画面になりましたら、[Edit]ボタンをクリックします。

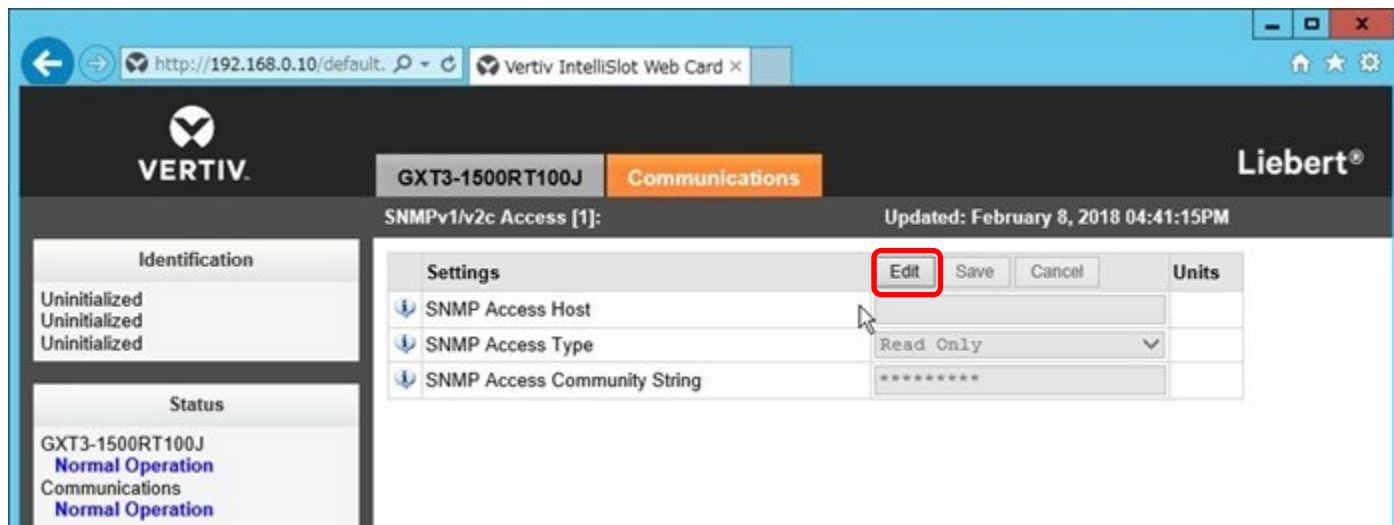


図 12

2-3. 管理者ユーザーのログインが求められ、ログイン画面が表示されます。

[Username]と[Password]に[Liebert]と入力し、[Login]ボタンをクリックします。

管理者ユーザーのデフォルトの ID とパスワードは[Liebert]になります。

※グレーアウトされていた項目が設定変更可能になります。

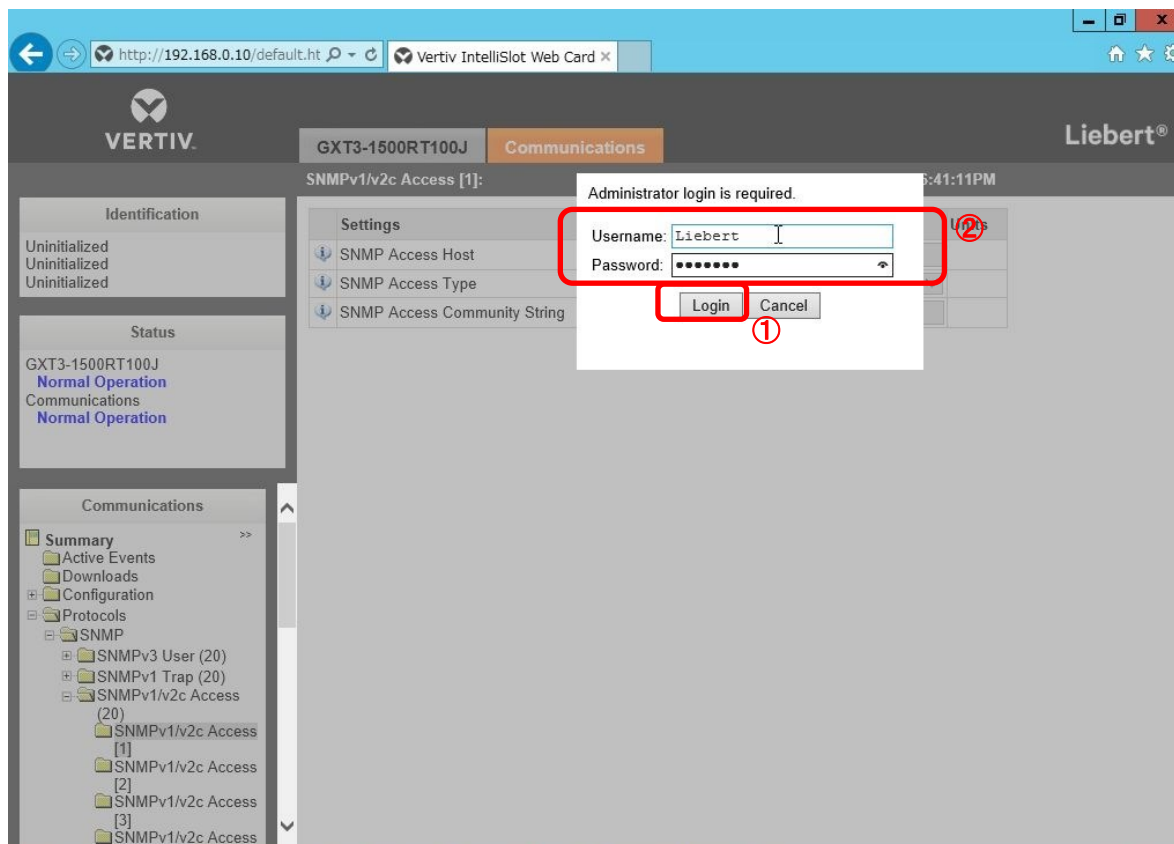


図 13

2-4. [SNMP Access Host]に SNMP 登録する端末の IP アドレスを入力し、[Save] ボタンをクリックします。

[Save] ボタンをクリック後、再起動後、設定が反映されますという内容(英語)のポップアップメッセージが表示されます。

1-8. 同様の手順で IS-UNITY-SNMP の再起動を行ってください。

※[SNMP Access Community String]はデフォルト値が設定されています。

デフォルトの[SNMP Access Community String]は[LiebertEM]になります。

MultiLink のデフォルトのコミュニティ名も[LiebertEM]になります。

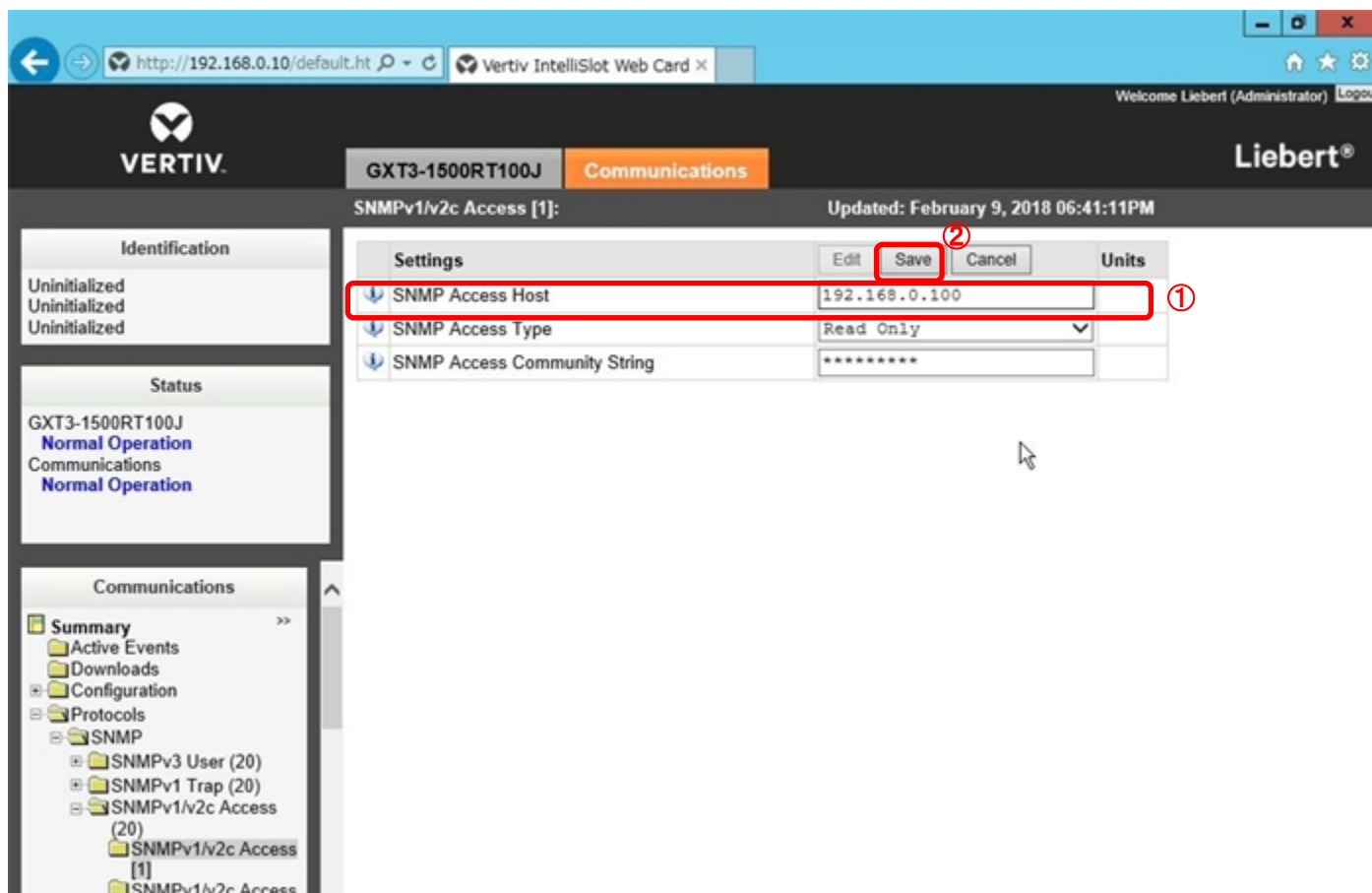


図 14

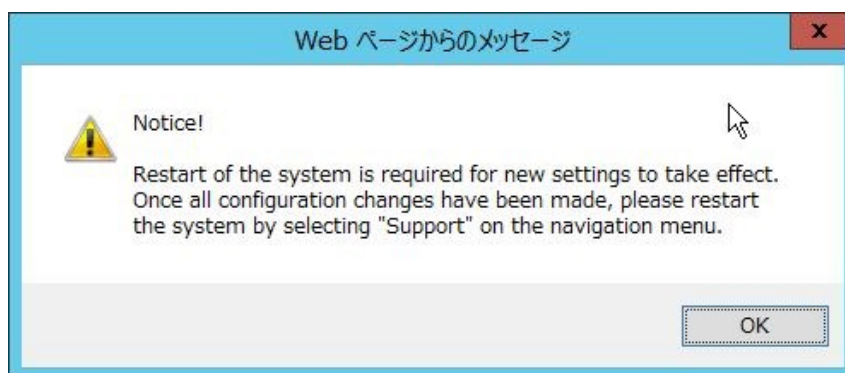


図 15

2-5. 複数の端末を登録する場合は、[SNMPv1/v2c Access [2] ~ [20]]に、[SNMPv1/v2c Access [1]]と同様に設定を行ってください。

※[SNMPv1/v2c Access [2]]には、[SNMP Access Community String]がデフォルトで設定されておられないので入力してください。

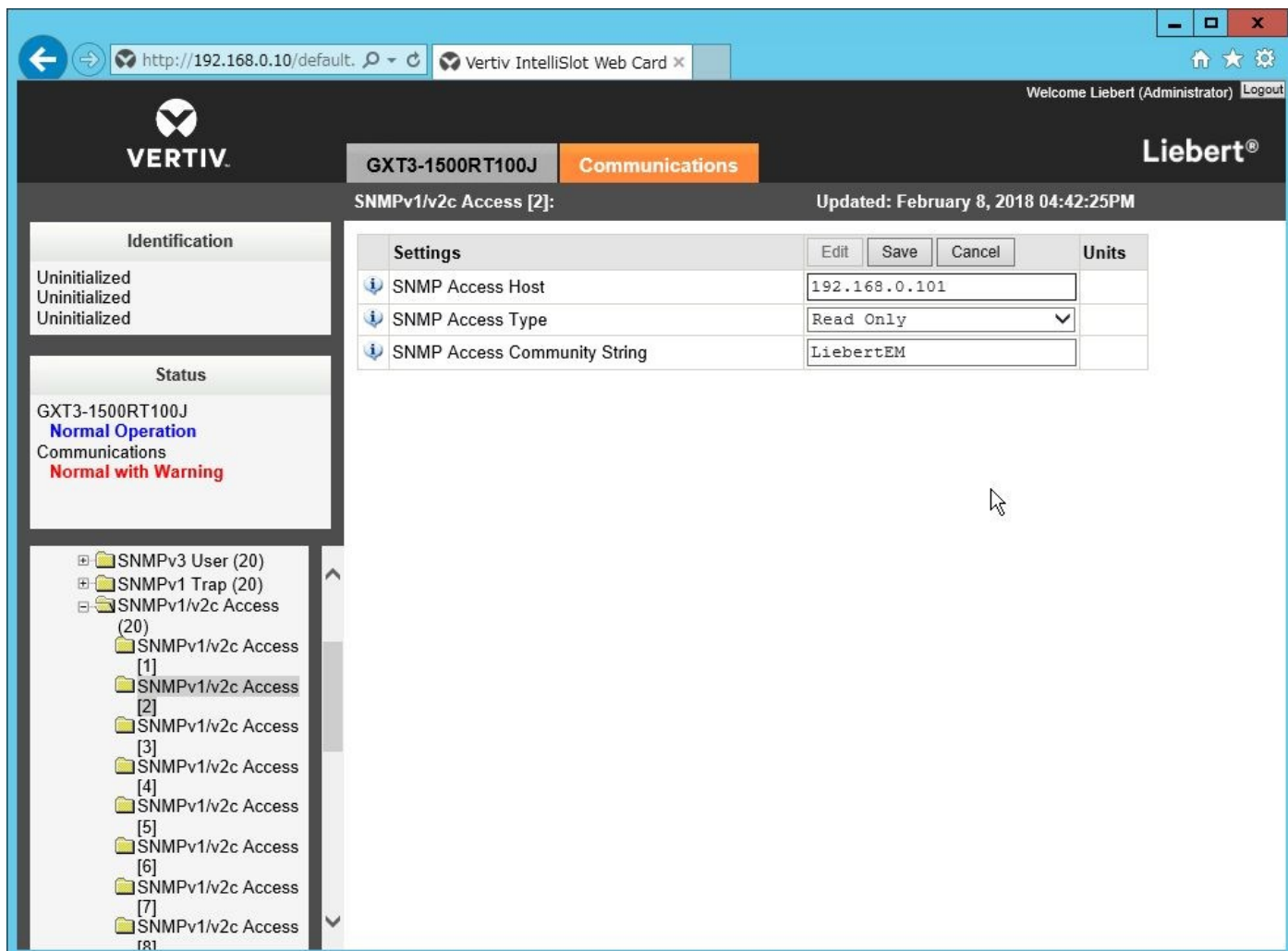


図 16